

令和3年度

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実施状況及び効果検証

大宜味村

No.	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容	総事業費(円)		事業開始 年月日	事業完了 年月日	実施状況 (実績概要)	成果等
				うち交付金 充当経費(円)				
1	学校給食センター検収室増設工事	①食品の納品の際に使用する荷受け室は、調理場と直結しているが、唯一、外部との接触がある場所となるため、外部と調理場を遮断するための【検収室】を増設することで、遮断空間を作り、コロナウイルス除去対策を行う。 ②検収室増設工事費に係る経費	7,127,000	7,127,000	R3.4.1	R3.11.31	外部と調理場を遮断するための【検収室】を増設した。 検収室増設工事費1式	外部と調理場を遮断するための【検収室】を増設することで、遮断空間を作ることができ、新型コロナウイルス感染防止対策の強化を図ることができた。
2	新型コロナウイルス感染拡大防止支援事業	①児童生徒・園児及び職員の感染拡大防止を図るためマスクを配布する。 ②マスク配布、消毒液等の購入に係る経費	775,842	775,842	R3.6.17	R4.3.31	児童生徒及び園児・職員へマスクの配布を行った。 マスク、消毒液、ハンドソープ、ペーパータオル	マスクの配布や衛生資材を購入し、感染防止対策が図りながら学校運営を行う事ができた。
3	村立診療所抗原検査等診療体制確保事業	①村立診療所に看護師を新たに配置し、PCR検査・抗原検査等の体制を確保する。 ②看護師の給料等に係る経費	3,139,844	3,139,844	R3.4.1	R4.3.31	抗原検査等の体制強化のため看護師の配置を行った。 看護師の配置:1名(4月～3月)	PCR検査、抗原検査受診者対応のため、新たに看護師を配置することにより、検査体制の強化が図られ、円滑な検査対応に繋げる事ができた。 検査受診者:1,840人
4	地域経済回復支援事業	新型コロナウイルス感染拡大防止行動により低迷した村内経済の需要喚起を促進する為に地域振興券を配布する。 ②地域振興券 一人当たり 10,000円分の発行 【1,000円×10枚(内2枚＝飲食業分)】	29,994,160	29,994,160	R3.6.17	R4.3.31	新型コロナウイルス感染拡大防止行動により低迷した村内経済の需要喚起を促進する為に地域振興券を配布した。 地域振興券配布枚数:30,610枚 実際使用された枚数:28,858枚	地域振興券を積極的に使用を促すことが出来、村内経済の回復、循環を促進できた。
5	大宜味マイクロリズムクーポン事業	①コロナの影響により観光客が激減し、村内の事業者が疲弊している中、クーポン券を発行し、村内観光事業の活用を促すことで経済的な活性化を目指す。 ②マイクロリズムクーポン券の発行	10,125,136	10,125,136	R3.6.17	R5.3.31	マイクロリズムクーポン券を発行した。 登録事業者:17件 クーポン券利用枚数:2,598枚	新型コロナウイルス感染症の長期化により、需要機会が激減している観光事業において、マイクロクーポン券を発行することで、村内観光事業の活用促進が図られ、活性化に繋げる事ができた。
6	村立診療所新型コロナ検査体制強化事業	①新型コロナウイルス感染拡大防止のため、村立診療所に新たに検査装置を導入する。 ②備品購入に係る経費	1,555,950	1,555,950	R3.4.1	R4.3.31	村内診療所へ新型コロナウイルス対応検査装置の導入を行った。 新型コロナウイルス対応検査装置1台	PCR検査装置を導入することで、村内でも感染を確認することが可能となり、感染者を早期に行動抑制することで、感染拡大予防を図ることができた。 PCR検査受診者:1,556人
7	緊急事態宣言延長に伴う地域産業支援事業	①新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、経済的影響を受けた大宜味村内の事業者(小売業・サービス業等)に対し、事業の継続及び経済活動の回復のための支援として、大宜味村事業者支援給付金を交付し事業者を応援する。 ②事業者(小売業・接客業等)に支援金を支給 1事業所あたり上限100千円	3,661,400	3,661,400	R3.12.17	R4.3.31	経済的影響を受けた大宜味村内の事業者(小売業・サービス業等)に対し、大宜味村事業者支援給付金を交付した。 給付事業者数:41事業者	新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、経済的影響を受けた大宜味村内の事業者(小売業・サービス業等)に対し、事業の継続及び経済活動の回復を図ることができた。
8	小・中学校の検温体制強化事業	①小・中学校への出入りが激しい時間帯に遠隔検温が可能な機器を設置し、感染疑いのある児童生徒・職員・来客の出入り制限し、学校内の感染防止を促す。また、簡易的な検査キッドを活用し、感染の早期発見により感染拡大を防ぐ。 ②サーモグラフィカメラ・検査キッド購入に係る経費	2,024,440	2,024,440	R4.1.28	R4.3.31	村内の小学校・中学校へサーモグラフィカメラの設置を行った。 検温機能付き顔認証リーダー4台、抗原検査キッド80個	非接触型体温計を設置することで、登校時や行事前の検温確認が可能となり、体調不良者の進入を抑制することで感染防止対策に繋げる事ができた。
9	学校給食センター検収室増設工事	①食品の納品の際に使用する荷受け室は、調理場と直結しているが、唯一、外部との接触がある場所となるため、外部と調理場を遮断するための【検収室】を増設することで、遮断空間を作り、コロナウイルス除去対策を行う。 ②検収室増設工事費に係る経費	551,000	551,000	R3.4.1	R3.11.31	外部と調理場を遮断するための【検収室】を増設した。 検収室増設工事費1式	外部と調理場を遮断するための【検収室】を増設することで、遮断空間を作ることができ、新型コロナウイルス感染防止対策の強化を図ることができた。